



カラーでご覧になりたい方は、錦小HP「学校だより」<http://www.ueis.ed.jp/school/nishiki/>までHPでは、学校だよりで紹介できなかった写真も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

令和3年(2021年), 本年もよろしくおねがいたします

令和3年がスタートして約3週間が経ちましたが、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかに過ごしのことと思います。

さて、保護者の皆様、地域の皆様もご存じのとおり、栃木県や宇都宮市では、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、緊急事態宣言が発出され、これまで以上の感染防止の取組が必要な状況となっています。学校では、県・市教育委員会の指導に基づき、児童の感染防止への指導や健康面への配慮を十分に行ってまいります。

冬休み明け、学校初日の1月8日(金)の朝の放送朝会では、新型コロナウイルス感染症への感染防止にしっかりと取り組むこと、特に、マスク着用や手洗いの励行、マスクを外しているときの会話を控えること、人との距離をとること等について気を付けるように児童に伝えました。また、今年度の残り3か月を、進学や進級に向けてしっかりと勉強や運動をして、悔いのない充実した時間を過ごすように頑張ろうという話をしました。児童達は、各教室で静かに放送に耳を傾け、真剣な顔つきで話を聞く姿勢が見られたようです。

学校では、新型コロナウイルス感染症への感染防止にしっかりと取り組むとともに、今年一年が児童達一人一人にとって実りある充実した年になるように、全職員で児童達としっかりと向き合ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



不審者対応避難訓練の実施

1月13日(水)の3校時、宇都宮東警察署スクールサポーターの星野様のご指導のもと、不審者対応の避難訓練を行いました。

今回は、不審者が北校舎に侵入したという想定で、児童には、教師の指示に従って安全な場所で身を守ること、教職員にとっては、「不審者対応マニュアル」に従って、児童の安全確保や警察への通報、不審者への対応などを的確にできるようにすることを目的として実施しました。

訓練時、児童達は、担任の指示で声を潜め、身の安全を確保する行動をすばやくとりました。また、担任は、教室の出入り口を封鎖し、机等でのバリケードを築き、さすまたをもち不審者への対応に備える行動をとりました。児童、教職員ともに真剣に取り組むことができたと思います。その後、教職員は、さすまたの使用法訓練を受け、児童は、不審者に遭遇した際の対応について映像を視聴し理解を深めました。

非常時には、今回の訓練で身に付けたことをもとに、教職員、児童ともに冷静に対処していきたいです。また、不審者が学校内に侵入しないように、普段から、学校施設の安全管理、来校者への適切な対応に努めてまいります。



「さすまた」を使った
不審者対応訓練(教職員対象)



スクールサポーターの話
(感染防止のため、校内放送で)

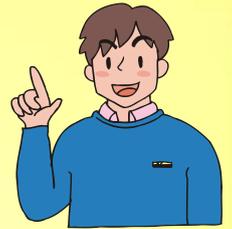
おじゃまします！！教室訪問 ～6-0～

第10回目は、6年O組を訪問しました。6年O組担任は、O先生です。算数の時間にお邪魔しました。

本時は、「算数ワールド」という発展的な内容の単元（学習のまとめり）の第1時間目で、『1つの大きな円の面積と、複数の小さな円の面積が等しくなるとき、その理由について、式に着目して筋道を立てて説明することができる』ことをねらいとして行われました。

授業の最初に、先生は、ピザのイラスト（一辺が60cm四方の箱に入っている1個の大きなピザと同じ大きさの箱に入っている4個のピザ）を提示し、「同じ金額だったら、大きい方と小さい方ではどちらがお得かな？」と児童に尋ね、学習内容への関心を高めました。

また、「ピザはどういう形？」と聞き、「まる」と答えた児童の言葉に対してさりげなく「算数的にいうと？」「円です」というように発言させ、算数の用語を適切に押さえ指導している様子が見られました。また、「ピザを選ぶときには、何で選びますか？」と尋ね、「味」、「値段」という普段の生活の中での視点を取り上げるとともに条件を揃え、学習のめあてとして、「味、値段、箱の大きさが同じとき、最もお得なピザの入れ方を調べることができる」というめあてを設定しました。先生は、「学習は、生活に生かして本当の学習となりますね。生活の中で今日の学習を生かしていくようにできるといいですね。」と学習を実生活とのかかわりで捉えられるよう



な指導を行うことにより「主体的な学び」が実現できるように配慮していることが分かりました。また、先生は、学習に取り組むにあたっての各自のめあてもノートに書かせました。児童達は、「難しそうだけど、ノーミスで考えたい。」「面積を求める式をしっかりと活用して取り組みたい。」などと書き、意欲を高めていました。

先生は、「一辺が60cm四方の箱に入っている1個の大きなピザと同じ大きさの箱に入っている4個のピザではどちらの方が大きいと思いますか？予想してみましょう。」と児童に投げ掛け、直感的に予想させるとともに、予想の根拠を話し合わせ、面積を比べる方法について見通しをもたせていきました。それから、児童達は、実際に大きいピザ1枚分と小さいピザ4枚分の面積をそれぞれ求める活動を進んで行き、それぞれ、半径の数値をもとに、円の面積を求める公式に当てはめて計算し、両方の面積が等しいことが分かりました。

次は、いよいよ本時の中心となる学習活動です。先生は、児童に教科書をよく見るように言い、「教科書に出てくる『かえでさん』は、『面積を求めなくても、式を見れば比べられるよ。』とっています。ということなのか考えてみましょう。」と児童達に投げ掛けました。

児童達は、各自、じっくりと考える活動に取り組みました。児童達は、小さいピザの方の式を変形していくと、最後まで計算しなくても、大きなピザの面積を求める式と同じになることに気付いていき、黒板のところで、その説明をしっかりとできました。

先生は、式の中の数をどのような見方や計算法則を用いて変えたのかを児童に尋ねたり、補足説明したりしながら、児童が根拠を明確にした説明ができるように丁寧に指導していきました。

$$\begin{aligned} 15 \times 15 \times 3.14 &= 15 \times 15 \times 3.14 \times (2 \times 2) \\ &= (15 \times 2) \times (15 \times 2) \times 3.14 \\ &= \underline{30 \times 30 \times 3.14} \end{aligned}$$

次に、今度は、同じ一辺が60cm四方の箱に9個のピザが入っている場合はどうかについても、児童に取り組ませました。児童は、 $10 \times 10 \times 3.14 \times 9 = 10 \times 10 \times 3.14 \times (3 \times 3)$

$= \underline{30 \times 30 \times 3.14}$ と式を変形し、数値を変えた場合でも、同様の式の変形や見方によって面積が等しいことを捉えていくことができました。児童達は、もっと多くのピザでも同じことが言えるのではないかなど、発展的に考え、算数の問題を広げていく意欲が高まったように思われました。最後の振り返りでも、「思ったより難しかったけど、頑張って取り組んだ。」などの感想が多く見られました。授業全体をとおして、熱心に粘り強く学習に取り組む児童達の姿が大変印象的でした。

O先生は、算数が専門で、市教育委員会の教科指導員の経験もあります。また、児童指導主任としても、全児童の行動に目を配り、よりよい児童の育成に積極的に取り組んでいます。O先生とともに、6年O組の児童たちがこれからもさらにぐんぐん力を付け、より一段と素晴らしい児童に育つことを大いに期待しています。



- ※ 読みやすさを考え、教員の呼称は、「教諭」ではなく、「先生」とさせていただきます。
- ※ ホームページには、これら以外の写真も個人情報に配慮しながら掲載しております。ぜひご覧ください。